

別 紙

◆◆◆表彰期日及び場所 : 平成22年11月24日(水) 13時00分◆◆◆
天竜川上流河川事務所 2階会議室
(長野県駒ヶ根市上穂南7番10号)

◆◆ 河川管理施設の適切な管理・操作に従事した個人 ◆◆

【 中部地方整備局長表彰 】

該当なし

【 天竜川上流河川事務所長表彰 2名】

◆表彰者氏名 箕輪町松島坂井北
佐々木 繁雄(ササキ シゲオ)

河川管理施設 坂井排水ひ管・中込沢排水ひ門

従事期間 15年

表彰理由 箕輪町内にある直轄排水樋管の操作管理を永年にわたり
実施し、地域住民の財産を守り続けている。

◆表彰者氏名 箕輪町松島坂井南
原 東雄(ハラ トオル)

河川管理施設 坂井排水ひ管・中込沢排水ひ門

従事期間 15年

表彰理由 箕輪町内にある直轄排水樋管の操作管理を永年にわたり
実施し、地域住民の財産を守り続けている。

◆◆ 災害対策関係功労者 ◆◆

◆ 感謝状贈呈企業

原建設株式会社

工事件名 平成22年度 天竜川北殿堤防緊急対策工事

工 期 平成22年7月15日から平成22年7月20日

理 由 平成22年7月梅雨前線豪雨に伴う出水により沈下した天竜橋における災害未然防止として、上伊那郡南箕輪村北殿地先の天竜川右岸堤防において、緊急的に大型土のう積みを約140m設置する堤防補強工事を実施した。

これは、河川事業の推進・理解への模範となるものであり、その功績は顕著である。

西武建工株式会社

工事件名 平成22年度 天竜川福島堤防緊急対策工事

工 期 平成22年7月15日から平成22年7月20日

理 由 平成22年7月梅雨前線豪雨に伴う出水により沈下した天竜橋における災害未然防止として、伊那市福島地先の天竜川左岸堤防において、緊急的に大型土のう積みを約75m設置する堤防補強工事を実施した。

これは、河川事業の推進・理解への模範となるものであり、その功績は顕著である。

池田建設株式会社

工事件名 平成22年度 天竜川天竜橋緊急撤去工事

工 期 平成22年7月15日から平成22年11月19日

理 由 平成22年7月梅雨前線豪雨に伴う出水により沈下した天竜橋における災害未然防止として、橋梁緊急撤去工事を休日夜間を含む24時間体制で行い、最短期間で完成させた。

(平成22年8月9日(日)撤去完了)。

これは、河川事業の推進・理解への模範となるものであり、その功績は顕著である。

株式会社ジッソク

業務件名 平成22年度 天竜橋変位状況緊急調査

工 期 平成22年7月14日から平成22年7月16日

理 由 平成22年7月梅雨前線豪雨に伴う出水により沈下した天竜橋における災害未然防止として、夜間作業での着手となるも短期間で準備を行い、降雨の中、連続調査を行い正確な橋梁の挙動を把握し災害発生を

未然に防止する重要なデータを提供した。
これは、河川事業の推進・理解への模範となるものであり、その功績は顕著である。

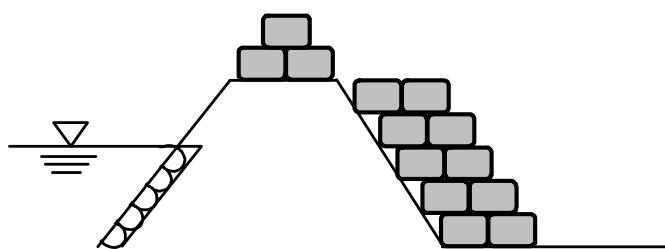
平成22年度 天竜川北殿堤防緊急対策工事

■災害関連(災害復旧に貢献)

平成22年7月11日からの梅雨前線による豪雨のため天竜川が増水し、距離標198.7km付近に架橋された天竜橋(左岸:長野県伊那市福島地先、右岸:長野県上伊那郡南箕輪村北殿地先)の橋脚が沈下したため、「災害又は事故における緊急的な応急対策の支援に関する協定」に基づき災害の未然防止を目的とした応急対策の堤防補強工事を行った。

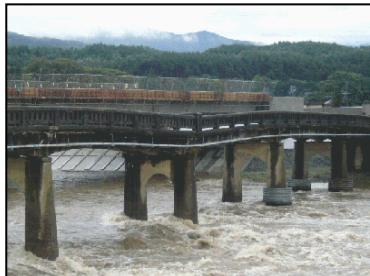
工事の緊急性に鑑み、夜間に作業着手となり、資機材及び人員の準備等が難航し、かつ降雨の中での作業は困難を極める状況であったが、平成22年度天竜川北殿堤防緊急対策工事の受注者である原建設(株)の優れた経験と調整能力を活かし、不屈の努力をもって、迅速かつ的確な施工管理を行い、夜間作業を通じて短期間で堤防の補強を完成させ、2次災害の発生を未然に防止したことは地元からも高い評価を受けている。

■工事概略横断図



■工事写真

天竜橋沈下状況



完成



施工状況



着手前



完成



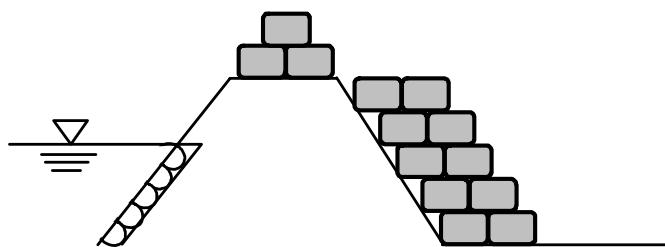
平成22年度 天竜川福島堤防緊急対策工事

■災害関連(災害復旧に貢献)

平成22年7月11日からの梅雨前線による豪雨のため天竜川が増水し、距離標198.7km付近に架橋された天竜橋(左岸:長野県伊那市福島地先、右岸:長野県上伊那郡南箕輪村北殿地先)の橋脚が沈下したため、「災害又は事故における緊急的な応急対策の支援に関する協定」に基づき災害の未然防止を目的とした応急対策の堤防補強工事を行った。

工事の緊急性に鑑み、夜間に作業着手となり、資機材及び人員の準備等が難航し、かつ降雨の中での作業は困難を極める状況であったが、平成22年度天竜川福島堤防緊急対策工事の受注者である西武建工(株)の優れた経験と調整能力を活かし、不屈の努力をもって、迅速かつ的確な施工管理を行い、夜間作業を通じて短期間で堤防の補強を完成させ、2次災害の発生を未然に防止したことは地元からも高い評価を受けている。

■工事概略横断図



■工事写真

天竜橋沈下状況



施工状況



着手前



完成



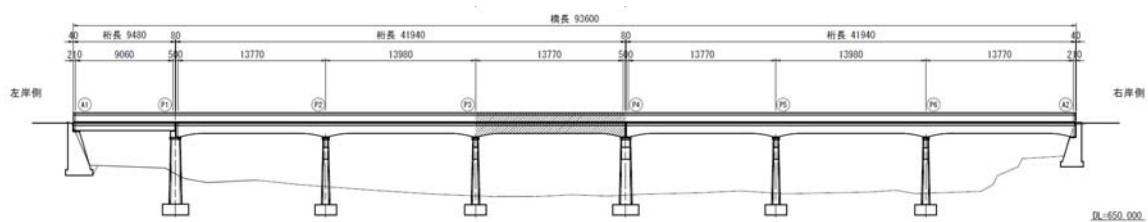
平成22年度 天竜川天竜橋緊急撤去工事

■災害関連(災害復旧に貢献)

平成22年7月11日からの梅雨前線による豪雨のため天竜川が増水し、距離標198.7km付近に架橋された天竜橋(左岸:長野県伊那市福島地先、右岸:長野県上伊那郡南箕輪村北殿地先)の橋脚が沈下したため、災害の未然防止を目的とした橋梁の緊急撤去工事を行った。

天竜橋は国道153号バイパスに接続する重要な路線であること、鮎釣りの最盛期でかつ出水期間中の河川内工事であることから、関係機関との綿密な調整が必要であり、かつ工事実施上の制約が多い中で、平成22年度天竜川天竜橋緊急撤去工事の受注者である池田建設(株)は、優れた技術と経験を活かし、創意工夫と不屈の努力により、橋梁の緊急撤去工事を、休日、夜間施工を含め短期間で完成させ、2次災害の発生を未然に防止したことは地元からも高い評価を受けている。

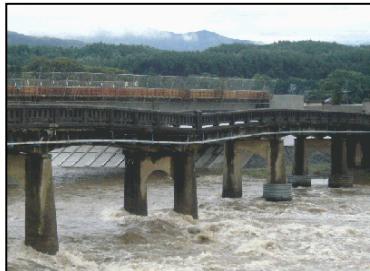
■工事概略横断図



■工事写真

天竜橋沈下状況

施工状況



着手前

完成



平成22年度 天竜橋変位状況緊急調査

■災害関連(災害復旧に貢献)

平成22年7月11日からの梅雨前線による豪雨のため天竜川が増水し、距離標198.7km付近に架橋されていた天竜橋(右岸:長野県上伊那郡南箕輪村北殿地先、左岸:長野県伊那市福島地先)の橋脚が沈下したため、災害の未然防止の観点から天竜橋の挙動を観測した。

天竜橋は今回の橋脚の沈下により落橋の危険が生じており、落橋を想定した場合には出水時に河積が阻害され、堤防からの越水及び堤防決壊のおそれがあることから挙動の観測(変位の測定)は緊急を要するものである。

調査の緊急性に鑑み、夜間に作業着手となり、資機材及び人員の配置等、短時間で準備を行い、降雨の中で早朝からの連続的な観測は困難を極める状況であったが、平成22年度天竜橋変位状況緊急調査の受注者である(株)ジッソクの優れた経験を活かし、不屈の努力をもって、迅速かつ的確な調査を行い、正確な変位の測定による橋梁の挙動を把握し災害の発生を未然に防止するとともに、橋梁緊急撤去作業の計画立案に重要なデータを提供して貢献するなど、地元からも高い評価を受けている。

■工事写真

